

# 平成23年度 九州クルーズ振興協議会 総会資料



「にっぽん丸」(三井商船客船(株))



「飛鳥Ⅱ」(郵船クルーズ(株))

日時: 平成23年6月 日( ) 13時30分～

場所: 福岡合同庁舎新館7階 九州運輸局海技試験場



九州クルーズ振興協議会

# 議題(1) 平成22年度 事業報告

## 1-1. 九州クルーズシンポジウム開催

- ・日 時：平成22年6月30日（水）14：00～16：00
- ・会 場：福岡市サンパレス「パレスルーム」
- ・参加者：約300名（会員55名参加）
- ・概 要：当協議会と九州運輸局及び西日本新聞社の3者共催

### ① 講演

- ・観光立国に向けた取り組み・・・九州運輸局 加藤企画部長
- ・クルーズ市場の現状と展望・・・(株)JTB九州 甲原取締役営業部長

### ② パネルディスカッション「九州におけるクルーズ振興によるインバウンドの取り組みについて」

の二部構成で開催した。



田中会長による主催者代表挨拶



講演会



←パネルディスカッション

### パネラー

- 長崎県 織方観光振興推進本部長
- 鹿児島県 奈良迫観光プロデューサー
- 福岡市 福原港湾局港湾振興部長
- (株)JTB九州 甲原取締役営業部長
- We Love 天神協議会 永竿事務局長

### コーディネーター

- 九州運輸局 加藤企画観光部長

### パネラー等発言趣旨等

- ・九州の港の魅力発信、歓迎方法の工夫
- ・地域全体でクルーズの受け入れやおもてなしの形成
- ・受け入れ体制の整備（入国手続き、通訳、情報提供等）、インバウンドの拡大

## 1-2. インバウンド部会設置

・博多港をはじめ、九州各港への外航クルーズ船の入港が増加し、また、九州クルーズシンポジウムやジャパン・クルーズ・シンポジウム等が開催されるなか、インバウンドの取り組み強化や、受け入れ体制等の課題も指摘されたことから、その検討機関として当協議会の中に「インバウンド部会」を設置した。

### 1. 第1回部会開催

日時：平成22年11月16日（火） 13:00～15:30

議題：①入国審査について

福岡入国管理局 建山総務課長より現状説明

②クルーズ寄港地としての九州の魅力発信について

③その他（各地域における取り組みについて）



インバウンド部会



地元TV局による取材風景

### 2. クルーズ船の入国審査対応に係る関係者会合の開催

日時：12月8日（水） 15:00～17:30

議題：博多港における入国審査の迅速化・円滑化に向けた対応策について

- ・審査体制の強化（審査官の増員、自治体からの応援職員の派遣等）
- ・審査の弾力的な対応（海外臨船の実施回数の増加等）
- ・その他（仮上陸許可証による行動範囲の拡大等）

### 3. 部会メンバーによる入国審査場（博多国際ターミナル）視察及び意見交換会

日時：23年2月1日（火） 10:30～12:30

#### ・見学コース

博多港中央ふ頭着岸バス ～  
国際ターミナル ～ 入国審査場

#### ・意見交換会（於：港湾合同庁舎）

国際ターミナルにおける視察 →



## 2. 「海フェスタながさき」での広報活動

海の総合展（海フェスタ長崎実行委員会主催）

開催期間：7月17日（土）～8月1日

場 所：長崎県美術館県民ギャラリー

支援内容：海の総合展における九州運輸局ブースでのポスター掲示及び協議会作成のパンフ「クルーズ船旅の魅力」の配布。

来場者数：7, 519名



クルーズ船ポスターの掲示



総合展視察中の秋篠宮殿下

## 3. パンフレットの作成

・「クルーズ船九州寄港予定パンフレット」（平成23年版）を平成23年1月21日に10,000部作成した。

配布先：JR九州各駅	1,300部
九州各自治体窓口	2,650部
運輸支局・登録事務所他	2,600部
会員（国の機関他）	1,100部
その他	500部



#### 4. 各種イベント・シンポジウムへの参加等

##### ① ジャパン・クルーズ・シンポジウムへの参加

- ・日 時：平成22年9月2日（木）9：30～16：40
- ・会 場：福岡国際会議場
- ・参加者：約400名（田中会長外、会員多数参加）
- ・主 催：観光庁、外航クルーズ旅行振興全国協議会
- 共 催：九州運輸局、福岡市
- ・概 要：パネルディスカッション3部構成（コーディネーター：シトルド 社会長）
  - ①外国船社が見た日本の魅力と訪日クルーズ船を増やすための方策  
パネラー（コスタ・クルーズ 社取締役、シバニ・クルーズ 社取締役、プリンセス・クルーズ 社副社長、ホランド・アメリカ・ライン取締役、ロイヤル・カリブ インターナショナル副社長）
  - ②クルーズ船社が寄港地と発着地港に求めるものとは何か  
パネラー（シバニ・クルーズ 社取締役、プリンセス・クルーズ 社副社長、ホランド・アメリカ・ライン取締役、中国港湾協会クルーズ部会会長、福岡市港湾局長）
  - ③日本のクルーズマーケット拡大に向けた戦略  
パネラー（コスタ・クルーズ 社取締役、ロイヤル・カリブ インターナショナル副社長、日本外航客船協会会長、(株)JTB グローバルマーケティング & トラベル社長、九州運輸局次長）



溝畑観光庁長官挨拶



パネルディスカッション

##### ②九州フライ&クルーズの推進

実施時期：平成22年11月6日～16日

コース1 博多～屋久島～奄美大島

11月6日（土）～9日（火）、327名乗船

コース2 博多～高知～鹿児島～長崎

11月10日（水）～13日（土）、156名乗船

コース3 長崎～上五島～屋久島

11月13日（土）～16日（火）、250名乗船



全国版パンフレット



九州内限定パンフレット



11月10日 高知に向けて出航する「にっぽん丸」の見送り式（博多中央埠頭）